

Ⅳ 医師・歯科医師臨床研修概要

1. 医師臨床研修病院指定

管理型	彦根市立病院群 平成 15 年 10 月 30 日指定 彦根市立病院臨床研修プログラム
協力型	京都大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 滋賀医科大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 福井大学医学部附属病院協力型臨床研修病院 岐阜大学医学部附属病院協力型臨床研修病院

2. 令和 2 年度（2020 年度）研修者

彦根市立病院臨床研修プログラム 3 名

1 年目から 2 年目プログラム

《1 年目》

4 月～9 月	10 月～11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
内科 (消化器内科、循環器内科のほか、血液内科、糖尿病代謝内科、呼吸器内科、脳神経内科のうち 2 科)	救急 (救急センター)	外科	外科（選択） (外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科のうち 1 科)	小児科 ※一般外来を含む	産婦人科

《2 年目》

4 月～9 月	10 月	11 月	12 月	1 月～3 月
希望選択科 ※将来進みたい診療科から選択	地域医療 ※一般外来・在宅医療を含む	精神科 (院外)	救急 (ICU)	希望選択科 ※将来進みたい診療科から選択

3. 歯科医師臨床研修病院指定

単独型 彦根市立病院群 平成 25 年 11 月 25 日指定
彦根市立病院歯科医師臨床研修プログラム

4. 令和 2 年度（2020 年度）研修者

なし

歯科口腔外科で 1 年間の研修を行う。ただし、医科と合同のオリエンテーションがある。また、希望により研修協力施設で 1 ヶ月以内の研修を受けることができる。

<週間スケジュール>

	月	火	水	木	金
午前	モーニング カンファレンス	脳外科合同 回診	病棟回診		病棟回診
	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助	医療面接実地 研修 手術見学・介助
午後	外来手術見学 ・介助 専門外来見学	外来手術 見学・介助	外来手術 訪問診療	外来手術	地域診療研修 専門外来見学
		カンファレンス		手術見学・介助	チーム医療に 関する勉強会

〈臨床研修医の感想〉

臨床研修を終えて

初期研修医 力武里菜

2年間、彦根市立病院にて臨床研修をさせていただきました、力武里菜です。

働き始めた頃はわからないことだらけで、毎日指導医の先生の後をついて行くだけで精一杯だったことが思い出されます。そんな中、どの診療科においても先生方や看護師さん達が熱心に指導してくださり、非常に恵まれた環境で勉強させていただいたと感じています。また、研修医の先輩、同期、後輩にも恵まれ有意義な2年間を過ごすことができました。

4月から皮膚科医として新たなスタートを切ることになりました。まだまだ不安なことも多いですが、彦根市立病院で経験したことを生かしていけたらと思っています。初心を忘れず多くのことを学び、またいつの日か彦根市立病院に帰って来た際には成長した姿をお見せできればと思います。2年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

臨床研修を終えて

初期研修医 野村得成

彦根市立病院で初期臨床研修医として2年間お世話になりました野村得成と申します。

研修が始まった当初は社会人としても初めてであり、ありとあらゆることが初めてづくしで緊張していたことを今でも鮮明に覚えております。業務にいたってはカルテの使い方一つとってもやっとなで、先生方のように仕事ができるようになるのだろうかという不安にも満ちておりました。しかしながら、先生方や病院内のスタッフの方々の御指導のおかげもあり徐々に仕事にも慣れ、気づけば早くも2年が過ぎておりました。

3年目からは脳神経外科を専攻することとなり、母校の大学病院にて勤務することになりました。これからは「臨床研修医」としてではなく、一人の「脳神経外科医」として歩むことになるため、その責任感の重大さと新たな緊張感と不安に圧倒されそうになりますが、彦根市立病院で学んだ医師としての基礎と医師になった初心を忘れず、修練を積んでいきたいと思っています。

彦根は私の故郷でもあり、しばらくの間離れることになるため、寂しさを覚えますが、脳神経外科医として、そして一人の医師として成長してまた地元へ戻って医療に貢献できれば幸いと存じます。お世話になった先生方、スタッフの皆様、2年間本当にお世話になりました。

臨床研修医を終えて

初期研修医 井上拓也

2年間大変有意義な初期研修を送らせて頂きました。この初期研修を通して学んだことは、医師として知識・技術を磨くことは当然であります、それに加え人間性が重要であるということです。医師という職業に就いて改めて思うことは、医師の仕事は膨大で多岐に渡るということです。ですが、それを理由に患者さんやご家族、他のスタッフへの対応がないがしろになってはいけません。円滑でより良い医療を提供するためには医師の人間性は大切だと感じます。また、教育という面においても、指導医・上級医の人間性が優れていれば、後輩医師が成長しやすいと感じてきました。優れた人間性を持つ医師のチームが増えれば、それが良い病院作りの土台になると考えています。人間性を磨くというのは簡単なことではありませんが、ある先生が仰っていた「実るほど頭を垂れる稲穂かな」ということわざを座右の銘の一つにして精進していきたいと思います。

最後になりましたが、彦根市立病院で働くことができ、本当に幸せでした。病院の皆さんだけでなく、関わった患者さん皆さんにも育てていただいたと感じています。

将来は循環器内科を専攻しながら、地域医療・在宅医療にも携わっていきたいと考えております。そして、また彦根市立病院で働けることを願っております。2年間本当にありがとうございました。